



## 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 一木 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長 (氏名) 高崎 正年

TEL 03-5224-4900

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	468	△14.1	22	—	2	—	33	—
30年3月期第1四半期	545	0.5	△20	—	△32	—	△33	—

(注)包括利益 31年3月期第1四半期 45百万円 (—%) 30年3月期第1四半期 △34百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	1.21	1.21
30年3月期第1四半期	△1.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	10,213	3,257	31.8	116.44
30年3月期	9,935	3,240	32.5	115.81

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 3,244百万円 30年3月期 3,227百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,050	13.7	90	—	30	—	45	—	1.61
通期	2,500	41.4	420	—	270	—	230	—	8.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	27,881,656 株	30年3月期	27,881,656 株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	14,094 株	30年3月期	13,934 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	27,867,590 株	30年3月期1Q	27,103,741 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(以下「当第1四半期」)の我が国経済は、緩やかな回復基調が続いております。先行きについても、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、アメリカの今後の政策の動向、中国をはじめとするアジア新興国等の経済の先行きなどの海外経済要因や、金融市場の変動による影響に留意する必要があります。

当社グループの主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場及び国内のホテル・レジャー市場は、海外経済の不確実性の影響を受けつつも、概ね堅調に推移しているといえます。

このような経済状況のもと、当第1四半期の当社グループは、新規賃貸用不動産の取得、オペレーション事業の各拠点における収益向上のためのさまざまな取り組みを積極的に進め、収益力の向上とさらなる安定化をはかってまいりました。

以上の結果、当第1四半期の当社グループの業績は、「ホテルJALシティ松山」の営業終了により、売上高は前年同期に対して14.1%減少し、468百万円となりましたが、収益用不動産の増加による収益力強化の結果、各段階利益は、営業利益22百万円(前年同期は営業損失20百万円)、経常利益2百万円(前年同期は経常損失32百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益33百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失33百万円)となりました。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りであります。

#### (マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に国内外の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当第1四半期は、前年同期に対し、収益用不動産が7物件3,903百万円増加、収益力を大幅に強化し、売上高169百万円(前年同期比87.6%増)、セグメント利益51百万円(前年同期に対し303.9%増)となりました。

#### (オペレーション事業)

当社グループは、当社、株式会社ホテルシステム二十一(連結子会社)及び株式会社ケンテン(連結子会社)において、宿泊施設、ボウリング場、インターネットカフェ店舗及び服飾雑貨店の運営、並びに給食業務の受託を行っております。

当第1四半期は、「加古川プラザホテル」をはじめ各拠点で堅調な運営を行うとともに、4月1日付での連結子会社化により、株式会社ケンテンで運営する服飾雑貨店7店舗が加わった結果、売上高は298百万円となりました。前年同期の売上高454百万円に対しましては、34.3%減少いたしました。昨年6月に営業終了となった「ホテルJALシティ松山」を除いた前年同期の売上高286百万円に対しましては、4.3%増加しております。

また、セグメント利益は、14百万円と、前年同期に対し71.7%増加いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は10,213百万円で、前連結会計年度末に比べ277百万円増加しております。その他流動資産の減少185百万円、有形固定資産の増加387百万円、株式会社ケンテンの株式取得に伴うのれん計上額の純増31百万円が主な変動要因であります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は6,955百万円で、前連結会計年度末に比べ259百万円増加しております。長期借入金(1年内返済予定のものを含む)の増加294百万円、株主優待費用引当金の減少23百万円が主な変動要因であります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は3,257百万円で、前連結会計年度末に比べ17百万円増加しております。配当金支払による資本剰余金の減少27百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益33百万円が主な変動要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月11日付当社「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した連結業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	502,435	511,615
受取手形及び売掛金	76,867	89,334
営業投資有価証券	291,111	302,893
販売用不動産	50,000	50,000
商品及び製品	1,516	1,660
原材料及び貯蔵品	8,711	9,035
その他	245,020	59,507
流動資産合計	1,175,661	1,024,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,658,172	4,866,835
土地	3,551,329	3,716,838
その他(純額)	53,213	66,529
減損損失累計額	△112,436	△112,436
有形固定資産合計	8,150,279	8,537,766
無形固定資産		
のれん	192,090	224,053
その他	2,876	2,853
無形固定資産合計	194,966	226,906
投資その他の資産		
投資有価証券	234,264	241,264
敷金及び保証金	90,281	90,281
その他	92,332	94,835
貸倒引当金	△1,920	△1,920
投資その他の資産合計	414,957	424,460
固定資産合計	8,760,203	9,189,133
資産合計	9,935,865	10,213,179

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,054	39,598
短期借入金	100,000	83,320
1年内返済予定の長期借入金	294,544	307,756
未払費用	73,892	80,152
賞与引当金	—	5,040
役員賞与引当金	—	330
株主優待引当金	35,545	11,823
その他	62,529	61,033
流動負債合計	605,566	589,054
固定負債		
長期借入金	5,929,399	6,210,349
長期預り敷金保証金	104,413	103,518
その他	56,474	52,646
固定負債合計	6,090,286	6,366,513
負債合計	6,695,853	6,955,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,848,568	2,848,568
資本剰余金	536,915	509,047
利益剰余金	△124,788	△91,042
自己株式	△2,835	△2,896
株主資本合計	3,257,859	3,263,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30,464	△18,681
その他の包括利益累計額合計	△30,464	△18,681
新株予約権	12,617	12,617
純資産合計	3,240,012	3,257,611
負債純資産合計	9,935,865	10,213,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	545,286	468,486
売上原価	194,393	211,418
売上総利益	350,893	257,067
販売費及び一般管理費	371,225	234,264
営業利益又は営業損失(△)	△20,332	22,802
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	392
未払配当金除斥益	144	—
その他	354	4,072
営業外収益合計	499	4,464
営業外費用		
支払利息	8,790	21,901
支払手数料	3,499	2,370
その他	1	—
営業外費用合計	12,291	24,271
経常利益又は経常損失(△)	△32,123	2,995
特別利益		
投資有価証券売却益	—	33,318
その他	—	19
特別利益合計	—	33,338
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△32,123	36,334
法人税、住民税及び事業税	1,337	2,901
法人税等調整額	381	△312
法人税等合計	1,719	2,588
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,843	33,745
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△33,843	33,745

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,843	33,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△533	11,782
その他の包括利益合計	△533	11,782
四半期包括利益	△34,376	45,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,376	45,528



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャット ・バンキング 事業	オペレーショ ン事業			
売上高					
外部顧客への売上高	90,420	454,866	545,286	—	545,286
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	90,420	454,866	545,286	—	545,286
セグメント利益	12,849	8,727	21,576	△41,909	△20,332

(注) 1. セグメント利益の調整額△41,909千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャット ・バンキング 事業	オペレーショ ン事業			
売上高					
外部顧客への売上高	169,586	298,899	468,486	—	468,486
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	169,586	298,899	468,486	—	468,486
セグメント利益	51,892	14,986	66,878	△44,076	22,802

(注) 1. セグメント利益の調整額△44,076千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「オペレーション事業」において、株式会社ケンテンの全株式を取得しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、38,900千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。